

令和6年度第3回 自主防災組織運営委員会議事録

防災部

開催日時 令和6年7月14日（日） 13:30～15:00

開催場所 上作延町会会館

出席者

防災部 齋藤安男 進士英治 岡本正博 伊藤実 深町美代子 石塚光祥 大槻直彦
齋藤三郎 小林里美

民生委員 程塚伸秀町会長 坂井正機 都甲

1. 齋藤部長より

総会で会長から災害時の要援護者への対応の協力の話が出ていた。自主防災組織でも今後検討していく必要がある。まずは民生委員の方にもお話を伺いたいと集まってもらった。

2. 程塚町会長を含め3名の民生委員の方より要援護者の把握の現状や名簿の管理などについてお話を伺った。

- * 個人情報の管理上要支援者の名簿は町会長のみが管理し公表はできない。
- * 75歳以上の所在調査を民生委員が全ての家庭を訪問して行っている。
- * 支援制度に登録していても近所に身内がいてその支援を希望するケースや他人の世話にはなりたくないと言うケースも申請すらしていない方もいる。
- * 過去の震災での被害を経て、現在は災害時の安否確認も自身の安全の確保を最優先にするように法的に変わっている。実際に起こった場合、担当の方全ての安否確認だけでもかなり厳しいと予想される。

3. 町会・自主防災組織として何をするか？

進士：災害児用援護者避難支援の川崎市の概要と町会自主防災組織の規定に記した内容及び自主防災組織では支援者の把握ができていないことを説明。

情報収集の方法、個人情報の取り扱いの困難さや組長にどこまで頼めるかなど民生委員、防災部員で様々な意見が交わされた。

町会長管理のしが作成した要援護者の名簿は使用できないため町会独自での情報収集の必要性が明確となった。

隣近所の横の繋がりを強くして共助の意識を高めること(自主防災組織の基本方

針の一つ)を目的として進めていくためにも組単位で取り組むのが良いのではないか。

来年度の支部再編成を機にアンケートを実施して援助が必要かつ組で公表しても良い世帯を回覧板を利用して各組で共有することで共助の強化を狙えるのではないか。

4 今後の取り組み

- ・『無事ですタオル』を来年度の予算で各世帯分準備して配布（役員会で承認済み）
- ・次回三役会で以下についてはかる。

- ① 町会員対象に災害時に援助が必要かどうか、それを組で共有しても良いかなどのアンケートを実施する。その際災害時の共助の重要性を明記して今回のアンケート実施の動機づけをしっかりとできるようにする。
- ② アンケートは自主防災組織会議で内容を検討し、総会までに役員会の承認を得る。(年内目標)
- ③ 年度内に町会員に回覧する。
- ④ 総会で事業報告する。
- ⑤ 組長の仕事にアンケートの各世帯への配布と回収を加える。アンケート用紙は来年度総会后支部長を通じて各組長に配布する。
- ⑥ 町会員→組長→支部長→防災部でアンケート回収し防災部でアンケートの集計を行い、援助を求めている世帯を組の地図で分かるようにして回覧板に貼るなどの方法で組内に共有してもらおう。
- ⑦ 状況は変化するため毎年アンケートを実施し組での情報共有を図り隣近所の繋がりの強化を目指す。

5. 新しい倉庫への中身の移動（町会館からテント2台・旧アンプ・旧スピーカーを含む）を7/20盆踊り前準備後に行う。

次回9月8日 13:30～ 町会会館 予定